

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	松本地域出産・子育て情報発信事業
事業主体 (連絡先)	松本地域出産子育て・安心ネットワーク協議会 (松本保健福祉事務所総務課 TEL0263-40-1937)
事業区分	(2)保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,963,241円 (うち支援金: 2,370,000円)

事業内容

1 産科・小児科医師の厳しい現状等を周知するパンフレットの作成・配布

人気漫画「コウノドリ」のイラストとともに、産婦人科・小児科医療に携わる「やりがい」や「魅力」を伝え、「お産を取り巻く厳しい現状」や「松本地域の産科医療環境を守る取り組み」について紹介するパンフレットを作成した。

作成に当たっては、松本地域で活躍する医療従事者や学生、出産を経験された方に協力頂き、インタビューを掲載。

イラストや写真、グラフなどにより関心を持ってわかりやすく見ることができるようデザイン、構成とした。

2 パンフレットを活用した公開講座の開催

パンフレットのタイトル『未来へつなぐ、未来とつながる』～地域で支える出産・子育て環境～をテーマに開催。

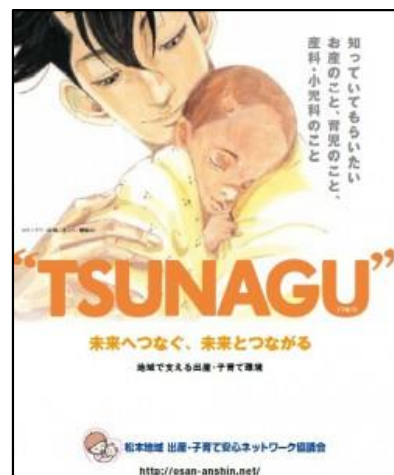
講師として元NICU看護師で現在はチャイルド・ボディ・セラピスト等として活躍されている蛭原英里さんを招き、NICU看護師としての経験やワーキングマザーとして奮闘されている体験をトークイベントとして語って頂いた。

また、信州大学医学部金井誠保健学科長らによるパンフレットを使った講演及びトークセッションを行った。

3 パンフレットと連動した動画の作成及び協議会Webサイト等での公開

パンフレットを社会へ広く周知するための媒体として、動画版を作成し、協議会Webサイトで公開。スマートフォン等にも対応したレスポンスデザインにより作成、ナレーションも表示することにより、「いつでもどこでも誰でも閲覧できる動画」として作成した。

また、インタビューに登場した医療者や学生等のより深い話しを生の声で聞くことができるよう、ロングインタビューの動画各14本を作成しあわせて公開した。



【パンフレット“TSUNAGU”】



【公開講座『未来へつなぐ、未来とつながる』】

【目標・ねらい】

事業効果

①パンフレットについて関心を持って読みやすく作成したことにより、学校等から追加の配布依頼を頂くなど、特に今年度の新たな試みとした学生などへの情報発信として成果があった。

②公開講座では人気ブロガーでもある蛭原英里さんを招き、目標の180名を大きく超える370名以上の参加者を動員。また、学生への広報に力を入れたことで、従来に比べ学生を含めた幅広い世代の住民等の参加につなげることができた。

①産婦人科等医療に携わる「やりがい」や「魅力」を伝え、「お産を取り巻く厳しい現状」や「松本地域の産科医療環境を守る取り組み」についてわかりやすく伝える。

②幅広い世代の住民、特にこれから医療者を志し、また子育て世代となっていく学生等若年層への情報発信。

(別記様式第12号)(第3の8関係)

③動画については、昨年度事業で作成した協議会 Web サイトを活用し公開することにより、Web サイトのアクセス数が1.57倍に増えるなど継続した事業の実施として効果が上がっている。

今後の取り組み

作成したパンフレットや動画を活用し、広く情報発信ができるよう取り組んでいきたい。

これまでの住民等や学校での配布・閲覧の機会を増やすことに加えて、今後は看護学校等のオープンキャンパスや県合同病院就職ガイダンスでの活用、また成人式での配布等を計画している。

来年度は、公開講座において参加者や講師から意見が「あったこれから妊産婦になる世代に直接情報が発信できるような取り組み」について検討し、引き続き松本地域における出産・子育て環境の維持向上を図っていきたい。

※自己評価【A】

【理由】松本地域で活躍する産科・小児科医療従事者の方々や学生、母親に協力頂き、関心を持ってわかりやすいパンフレットを作成できた。また、公開講座についても幅広い世代から目標を超える多くの参加者を集めることができ、特に学生などの若い世代を確保することができた。